

令和6年度 区の決算状況をお知らせします～第3回区議会定例会で認定されました

☎ 財政課 ☎5432-2044 ☎5432-3047

■一般会計

一般会計の決算状況は表1のとおりです。

●歳入の決算状況（表2）

特別区税が、ふるさと納税による大きな影響や住民税の定額減税による減収が生じたものの、納税義務者数の増等により前年度比0.3%（3億8446万円）の増、特別区交付金が、財源である固定資産税や市町村民税法人分の増等により前年度比10.0%（67億85万円）の増、地方特例交付金が、定額減税減収補填特例交付金の増等により前年度比1001.0%（41億3700万円）の増となりました。一方で、国庫支出金が、新型コロナウイルスワクチン接種事業補助金の減等により、前年度比1.9%（11億4257万円）の減となりましたが、歳入全体としては前年度比3.5%（135億8698万円）の増となりました。

●歳出の決算状況（グラフ1）

教育費が小中学校改築・改修経費や義務教育施設整備基金積立金の増等により前年度比44.9%（174億9789万円）の増、民生費においても、児童手当の制度改正等により前年度比5.1%（94億8613万円）の増となりました。一方で、総務費が本庁舎等整備工事費の減等により前年度比9.2%（60億5501万円）の減、衛生費が新型コロナウイルス感染症対策経費の減等により前年度比21.6%（37億2268万円）の減となりましたが、歳出全体としては前年度比4.7%（173億342万円）の増となりました。

一般会計決算状況（表1）	
区分	決算額
歳入総額(A)	4054億8112万円
歳出総額(B)	3890億20万円
歳入歳出差引額(A)－(B)=(C)	164億8092万円
翌年度へ繰越すべき財源(D)	35億18万円
実質収支(C)－(D)=(E)	129億8074万円
単年度収支(F)※	18億8686万円
財政調整基金積立て額(G)	1億2314万円
地方債繰上償還額(H)	0円
財政調整基金取崩し額(I)	0円
実質単年度収支(F)+(G)+(H)－(I)=(J)	20億1000万円

※単年度収支とは、今年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いたもの（当該年度のみの収支結果）です。

一般会計歳入決算内訳（表2）			
区分	決算額	構成比	前年度比
特別区税	1369億1505万円	33.8%	0.3%
特別区交付金	739億1231万円	18.2%	10.0%
国庫支出金	583億4549万円	14.4%	△1.9%
都支出金	464億9512万円	11.5%	5.5%
地方消費税交付金	228億1864万円	5.6%	4.8%
諸収入	112億3272万円	2.8%	△4.8%
使用料及手数料	65億2622万円	1.6%	0.5%
地方特例交付金	45億5004万円	1.1%	1001.0%
繰入金	42億7813万円	1.1%	△45.0%
特別区債	32億7600万円	0.8%	△1.6%
その他	371億3141万円	9.2%	12.5%
合計	4054億8112万円	100.0%	3.5%

特別会計決算状況（表3）			
区分		決算額	前年度比
国民健康保険事業会計	歳入	831億2591万円	△2.4%
	歳出	824億7458万円	△2.4%
後期高齢者医療会計	歳入	267億25万円	6.2%
	歳出	255億7639万円	4.7%
介護保険事業会計	歳入	765億5433万円	1.4%
	歳出	743億3013万円	2.7%
学校給食費会計	歳入	33億2068万円	4.1%
	歳出	33億1515万円	4.7%

●性質別決算の推移（グラフ2）

人件費が前年度比13.0%（72億7800万円）の増、行政運営費が前年度比1.2%（33億4182万円）の増、投資的経費が前年度比14.4%（66億8361万円）の増となりました。

■特別会計

特別会計の決算状況は表3のとおりです。

■健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、4つの健全化判断比率を表4のとおり算定しました。5年度決算に引き続き、いずれの比率も早期健全化基準を下回り、適正な範囲となっています。

※詳しくは、「令和6年度決算概要」[区HPQ 6209](#)「令和6年度世田谷区各会計主要施策の成果」[区HPQ 27803](#)（いずれも区政情報センター、総合支所区政情報コーナー、図書館にあり）をご覧ください。

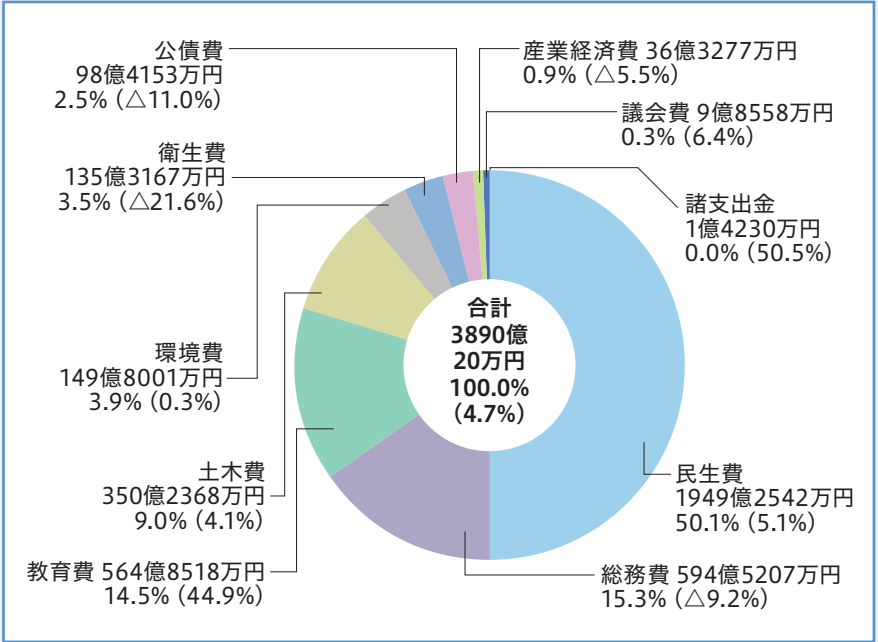
※[区HPQ 6214](#)で、決算見える化ボードを公表していますのでご活用ください。

※各表の数値および構成比については、項目ごとに端数処理（表示単位未満を四捨五入）をしているため、合計額等が一致しない場合があります。

健全化判断比率の状況（表4）				
区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
世田谷区	－	－	△1.5%	－
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.00%	350.00%

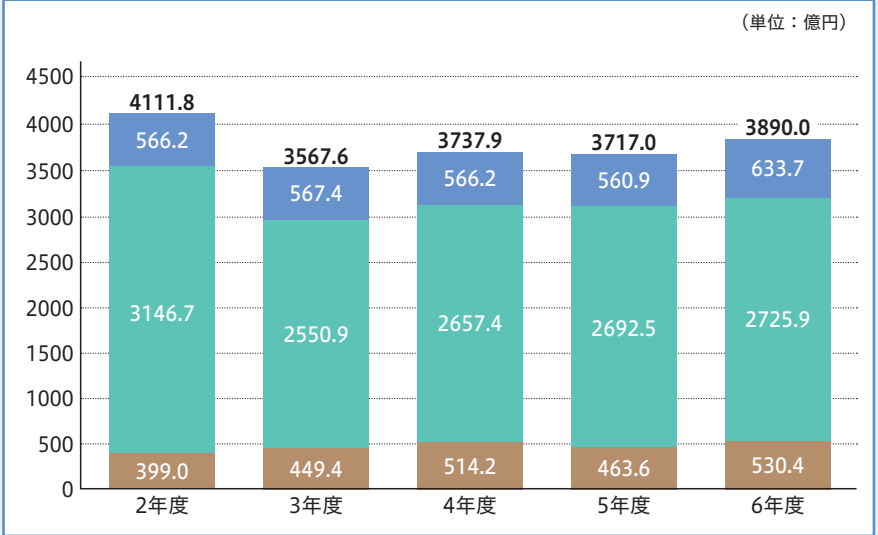
※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は、算定の結果「0」を下回った場合には「－」表示となります。

●一般会計歳出決算内訳（グラフ1）



グラフの凡例 ○○費…区分 ○○万円…決算額 ○○%（○○%）…構成比（前年度比）
※関係する項目に職員費の決算額624億5756万円を加えています。

●一般会計歳出決算（性質別）の推移（グラフ2）



グラフの凡例 ■人件費…職員給与費等
■行政運営費…投資的経費、人件費を除く行政サービス費
■投資的経費…道路・学校建設費、用地購入費等